東北労災病院広報誌　DAINOHARA

だいのはら

冬号
2025

特集
泌尿器科

目　次

新年のご挨拶 …… 2
ホスピス緩和ケア週間開催 …… 3
特集：泌尿器科「泌尿器科のご案内」 …… 4
部署紹介：5 階西病棟 …… 6
健康コラム「尿もれ 1 人で悩まないで！」 …… 7
栄養コラム「冬の隠れ脱水にご注意！」 …… 7
information …… 8

TAKE FREE

ご自由にお取りください

新年のご挨拶

院長　井樋　栄二

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。当院では地域住民を対象にした季刊誌「だいのはら」を去年 5 年ぶりに再開し、大変ご好評をいただいております。新年のはじめにあたり、東北労災病院を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

当院は去年、創立 70 周年を迎えました。これまで地域に根ざした病院として、地域の皆さんに喜んでいただける医療の提供に尽力してまいりました。とくに労災病院が力を入れている勤労者医療においては、治療就労両立支援センターを中心に患者さんの治療と仕事の両立を支援しています。今後も当院の理念「患者さんの立場に立った、満足と納得をして頂ける医療の実践」を胸に、質の高い医療の提供に努めてまいります。

その第一弾として、一昨年、人工関節手術支援ロボット・ローザを導入、また去年は外科手術支援ロボット・ダヴィンチを導入しました。また第二弾として、股関節センターに続いて、膝関節センターを開設しました。超高齢社会にあって増加の一途を辿る運動器疾患を持つ患者さんに対して、これらのセンターで迅速に対応できる環境を整えているところです。

しかしコロナ禍にあって外来患者、入院患者ともに減少し、コロナ禍前に戻っておりません。加えて、名取市にある宮城県立精神医療センターとの合築・移転の話が 3 年前に出てから、当院への紹介を躊躇してしまうという意見も開業医の先生方から多数いただいております。そのような状況の中、去年の 11 月 13 日に開催された宮城県精神保健福祉審議会の決議を受けて、村井知事も県議会においてセンターの名取市内建て替えの方針を発表しました。東北労災病院及び機構本部としましては、その方針を踏まえた上で患者さん、地域の開業医の先生方にとって、より良い方向に向かうよう早急に結論を出していきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2024年10月18日開催

「ホスピス緩和ケア週間開催」

毎年 10 月の「世界ホスピス緩和ケアデー」にあわせて日本ホスピス緩和ケア協会が主催する「日本ホスピス緩和ケア週間」に、緩和ケアリンクスタッフ会企画の**【ホスピス緩和ケア週間・備えあれば憂いなし】**と題して緩和ケアの普及啓発活動を実施しました。多くの患者・家族の方に緩和ケアを知ってもらうため、緩和ケアの歴史や治療方法、心構え、麻薬への誤解、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）、口腔ケアについてのポスター展示、栄養補助食品のサンプル配布を行いました。

今年は 5 年ぶりに POLA 化粧品職員の方々がボランティアでハンドマッサージを実施することができました。59 名の方がハンドマッサージを受けられ、「とても癒されました」「またお願いしたい」との言葉が聞かれ、日常の些細な事など気軽にお話しながら癒しの時間を提供して頂きました。今後も継続して緩和ケア普及のための活動、そして多くのがん患者さんに早期から緩和ケアの必要性を理解して頂けるよう活動していきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

特集 泌尿器科

泌尿器科のご案内

泌尿器科第二部長　工藤　貴志

泌尿器科は、腎臓、尿管、膀胱、尿道、そして男性生殖器に関するさまざまな病気や症状を診察・治療する専門科です。私たちは、**腎臓結石や尿路感染症、膀胱炎、前立腺肥大症、尿失禁といった一般的な泌尿器疾患**から、**腎臓がん、膀胱がん、前立腺がんなどの悪性腫瘍の治療**まで幅広く対応しています。また、**女性特有の泌尿器の悩みにも対応**しており、世代や性別を問わず、さまざまな症状にお応えしています。

泌尿器の病気は生活の質（QOL）に直接影響を与えることが多く、特に排尿トラブルや、前立腺肥大症に代表される男性特有の悩みは、患者さんの日常生活において大きな不安やストレスをもたらします。しかし、泌尿器の症状はデリケートな話題とされることが多く、相談をためらう方が少なくありません。当科では、そうした患者さんの不安を少しでも軽減し、安心して治療に臨んでいただけるよう、プライバシーに配慮した診療環境を整えています。経験豊富な医師と看護スタッフが、丁寧で思いやりのある対応を心掛け、気軽に相談していただける雰囲気づくりを大切にしています。

治療法については、患者さん一人ひとりの症状や生活背景に合わせ、最適な方法を提案しています。例えば、腎結石に対しては、痛みを和らげる薬物療法や、体外衝撃波結石破砕術など、身体的負担を最小限に抑える方法を選択することができます。また、内視鏡的治療も今後行えるように現在準備を整えているところです。前立腺肥大症に対しては、薬物治療や内視鏡手術を行い、患者さんが快適な日常生活を取り戻せるよう努めています。さらに、当科では悪性腫瘍に対する手術も積極的に行っており、早期発見・早期治療が望まれる腎臓がんや膀胱がんに対して、腹腔鏡や内視鏡を駆使し、術後の回復が早く、身体への負担を少なくすることを目指しています。

また、当院の泌尿器科では地域医療にも力を入れており、地域の医療機関やかかりつけ医と密に連携しています。診療や検査の際に得られた情報を迅速に共有し、患者さんが必要な治療を最適なタイミングで受けられるようサポートしています。特に、高齢化が進む地域においては、排尿に関するトラブルが増えており、認知症やその他の慢性疾患を抱える患者さんにも、総合的なケアを提供することが求められています。当科では、**専門的な診療とともに、予防や日常生活での管理方法についても積極的に指導し、地域全体で患者さんの健康を守る体制を整えています。**

当科は完全予約制となっているため、初診の方は地域の医療機関やかかりつけ医から紹介して頂きます。泌尿器科スタッフ一同、地域の皆さまが安心して暮らせる毎日をサポートし、一人ひとりの患者さんの気持ちに寄り添った診療を行ってまいります。

【診察室前】プライバシーに配慮した環境で安心して診察を受けていただくことができます。

部署のご紹介

5階西病棟

5 階西病棟は、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、脳神経外科からなる混合病棟です。泌尿器科では、腎臓結石や尿路感染症、膀胱炎、前立腺肥大症、尿失禁といった疾患から、腎臓がん、膀胱がん、前立腺がんなどの治療を行っています。皮膚科では悪性腫瘍の手術からアレルギー性の皮膚疾患や蜂窩織炎（ほうかしきえん）、褥瘡（じょくそう）治療などの皮膚疾患の治療を行っています。リハビリテーション科では心臓血管術後の対麻痺や脳卒中後のリハビリテーションを行っています。脳神経外科では慢性硬膜下血種の手術や脳梗塞の保存的治療などを行っています。

それ以外にも、様々な疾患の方が入院となるため多岐に渡る患者さんの状況に対応できるよう、定期的に勉強会を開き、新しい知識・技術を習得することに努めています。

患者さんとご家族が安心して治療を受けられることと、ご自身が望む退院後の生活をおくることができるように、医師と看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、退院調整看護師、医療ソーシャルワーカー、各認定看護師、看護補助者などの多職種が連携し、退院後の生活を見据えた医療を提供することを心がけています。

健康コラム

「尿もれ　1人で悩まないで！」

尿もれは、誰にでも起こりうることです。決して恥ずかしいことではありません。尿もれの原因は、加齢、出産、肥満など様々です。また、咳やくしゃみなどの腹圧がかかる際に漏れてしまう「腹圧性尿失禁」や、急に強い尿意を感じて我慢できない「切迫性尿失禁」など、種類も様々です。

尿もれの原因は一人ひとり異なります。まずは、専門医に相談し、正確な診断を受けることが大切です。原因に合わせて、骨盤底筋体操、薬物療法、手術など、様々な治療法があります。また水分補給、食事、運動など、生活習慣改善で症状が改善されることもあります。

尿もれは、決して治らない病気ではありません。もし尿もれでお悩みでしたら、お一人で悩まずお気軽に皮膚・排泄ケア認定看護師や医師にご相談ください。

栄養コラム

「冬の隠れ脱水にご注意！」

空気が乾燥し、あまり汗をかかない冬場は、マスクの着用機会もあり喉の乾きを感じにくいものです。夏よりも水分をとる機会が減ってしまうため、隠れ脱水を引き起こす可能性があります。水分補給は免疫力アップにも繋がります。ぜひ意識して取り組んでいきましょう。

＜水分補給のポイント＞

①食事は規則正しく１日３回食べる

食事をとることは、栄養はもちろん水分摂取にも繋がります。しっかり栄養・水分をとり代謝を促しましょう。

②こまめに少しずつ飲む

体格や年齢にもよりますが、1 日に飲む水分は約 1.5L が理想的です。一気に飲むよりも、少量ずつ頻回に飲む方が体への吸収が良いとされています。起床時や 10 時、15 時、お風呂に入った後等にこまめに飲みましょう。

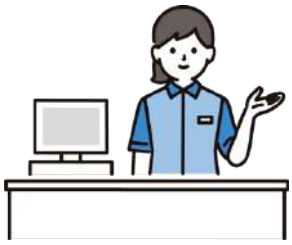
③普段の飲み物は、水または白湯、麦茶がおすすめ

利尿作用のあるコーヒーや緑茶よりも、糖分やカフェインを含まない飲料がおすすめです。

information

ファミリーマートがオープンしました！

12月17日(火)より当院1階にファミリーマートがオープンいたしました。
食料品はもちろん、マスク・紙おむつ等の衛生雑貨や介護用品も引き続きお取り扱いしています。
ぜひご利用ください！！



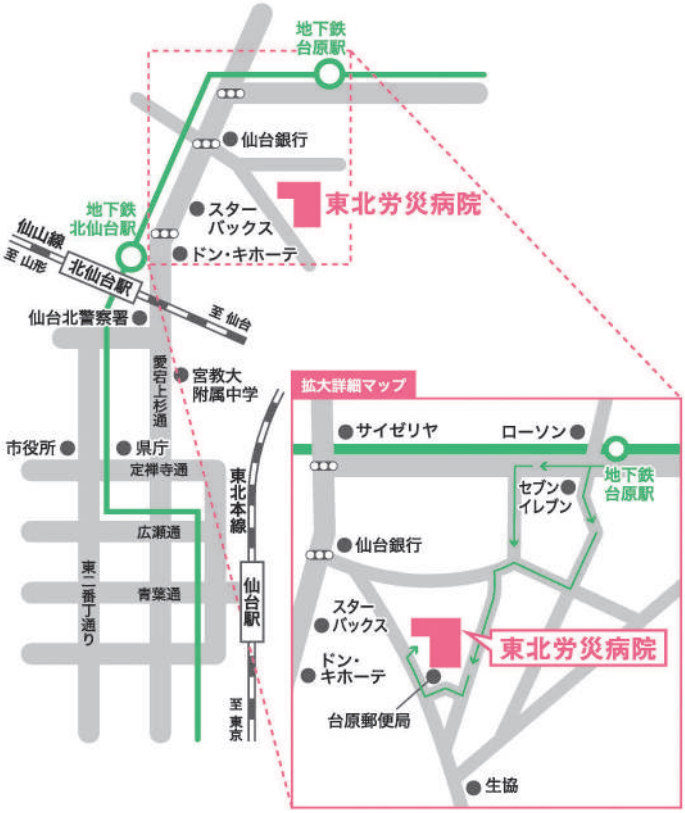
【営業時間】
平日　　8:00～20:00
土日祝　9:00～16:00

交通アクセス

▶バスをご利用の場合
仙台市営バス・宮城交通バス
仙台駅バスプール２番３番乗り場
宮城大学・宮城学院前方面行、
台原入口下車

▶電車をご利用の場合
JR 仙山線 北仙台駅下車
徒歩 10 分

▶地下鉄をご利用の場合
台原駅下車、徒歩 10 分



だいのはら

東北労災病院広報誌「だいのはら」
2025 年 1 月発行

独立行政法人労働者健康安全機構
東北労災病院
〒981-8563 仙台市青葉区台原 4 丁目 3 番 21 号
TEL：022-275-1111
URL　https://www.tohokuh.johas.go.jp